



緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

「炎のパクパク週間」&「食育の日」スタート！



なんだこの名前は！
実にユニークな名前の取組が始まりました。
好き嫌いせずに「パクパク」食べて、完食率の高い学級に「給食リクエスト券」が授与されます。このようなチャンスに、少しずつ栄養バランスを意識して、健康的な食生活が身に付いていくことを願っています。
そして、毎月19日の「食育の日」の近くに、栄養教諭の長澤香先生が、6月～2月の昼休みの時間にミニ集会を実施します。今回のテーマは『牛乳』。○×ゲームや読み聞かせなどで、20人くらいの人たちを楽しませてくれました。



この集会の司会は、昨年まで長澤先生が進めていたのだそうですが、「やってみたい！」という、4年生の高橋愛純さんと竹村凛々花さんが、主体的に進行に加わりました。このように、自分から進んで自然に楽しく学ぶことって、いいですねえ。また、こういう自主企画の集会に「行ってみよう！」と思える子たちが増えてきてますねえ。
日本一給食のおいしい横堀小学校にいられることを本当に幸せに思います。子どもたちも職員も、みんな給食の時間をわくわくして待っています。
すでに全員登校日が20日(20/50日)！
しかも、今週は月曜から金曜まで欠席がゼロ！ 私はこんな学校初めてです。
「楽しい学校」の大きな柱の一つに「給食(食べること)」があるって、ものすごいことですね。

朝食はご飯派？パン派？

「脳トレ」の東北大学・川島教授の研究に関する記事の抜粋です。



川島教授が研究を重ねてきた「朝食と脳の働き」において、新たな事実がわかってきました。その結果が物語るのは、子供の将来に責任を負う親たちへの警告なのです。
なぜ、**おかずが大事**なのでしょう。ブドウ糖をエネルギー源として使うには、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラルなど、各種の栄養素も必要であることは、栄養学で知られていました。勉強を続けると、脳の神経細胞から神経線維やシナプスが伸びて神経細胞同士がつながります。その伝達路が太くなって信号がより速く流れ、以前は解くのに時間がかかった問題も速く解けるようになります。**神経線維やシナプスをつくるためにも、すべての栄養素が必要**になるのでしょう。
朝食に関して、もう一つ予想外だったのは、主食に関してです。**米飯のほうがパンよりも脳の発達に**よい。朝食に米飯を食べている人たちの知能指数の平均点は、パンを食べている人たちの平均点を上回っていました。
そこで、MRIでそれぞれの脳の断面写真を撮り、内部を比べてみました。脳は表面の脳皮質と真ん中あたりの基底核を合わせた「灰白質(かいはくしつ)」という部分に神経細胞が詰まっています。この灰白質の体積が脳全体に占める割合は、米飯が主食の人の方が、パンが主食の人よりも高かった。つまり、灰白質がより大きく発達していたのです。

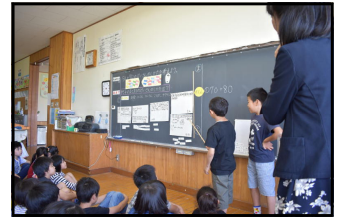
本県も、朝食をとらずに学校に来る子どもが多くなっていると言われています。また、ご飯だけ、パンだけの子どももいるようです。朝ご飯を準備するのは、働き方が多様になった現在、本当に大変な労働だと思います。でも、このがんばりを欠いては、子どもの体がもっと大変なことになってしまいます。未来につながる、小学生の朝食を大事にいきましょう。

第1回校内授業研究会 2、4年生の算数

今年度初の授業研究会が、県教育委員会と大仙市教育委員会の指導主事の先生をお迎えして、6月20日（木）に行われました。

2年生の授業は、「何十のまとまりの計算を説明する」という、考える授業へのチャレンジでした。指導主事の言葉を借りると、「子どもたちの学習習慣がしっかりと身に付いて、自分の考えを様々な方法で表現できている。」ことに育ちを感じました。2年生で、全員がノートにオリジナルの考えを書けるということは、学級日常の西村先生のていねいな指導と明るくのびのびと育てる学級経営の成果そのものです。

また、この授業はお家の皆さん5名も参観してくださり、次のような感想をいただいています。



・私の子ども時代30数年前との授業風景とは想像もつかぬ程の違いに驚きつつも新鮮味を感じました。クラス全員が一体になって進める授業、隣の席の子と相談しながら導き出した解答をみんなの前で発表する、ちょっとしたゲーム感覚で子どもたちも楽しみながら学べて、好印象を受けました。

・今日はとても楽しい授業をありがとうございました。一つの問題に対して、いろいろな解き方が考えられる子どもたちの頭の回転にはびっくりさせられました。お友達のよいところを吸収して、もっと算数が楽しい！好き！と思えるようになってくれるとうれしいです。

4年生の授業は、「2本の直線のならび方を比べて平行の意味を考える」という、超ハイレベルな授業へのチャレンジでした。そんな中、子どもたちが集中してじっくりと考え、学び合っ

てゴールに向かっていました。とにかく自分の考えを話したい、伝えたい子どもがいっぱいの、とっても活気のある授業でした。子ども



の「？」からめあてをつくって問題解決していく姿は、これから「横堀小スタンダード」として定着していく、学び方の提案につながりました。

授業を終えた藤本先生によると、一番の成果は「子どもたちがいつも以上にきちんとした授業だった！」ということでした。表現力のある4年生が、秋にそのよさを満開にすることまちがいないです。

二人の指導主事の先生が口を揃えたのは、「いい子たちですね」という、横堀の子どもたちの素直でまじめな学習に向かう姿勢でした。それから「先生方が笑顔でのびのびと議論し合い研究する姿勢がうらやましい」ということもお話されました。



子どもたちも先生方も、明るくすなおな『チームたいようくん』。そのよさを強みにして、ますます“横堀らしい横堀小学校”になるよう、「自分で考える」「みんなと創る」授業を楽しんでいきます。

6月14日（金）からの よこぼり・ホームページ・テ一 結果

6月14日（金）からの3日間の閲覧者数は、49名！

目標は100人でしたが、普段よりも確実に増えました。よびかけに应运てくださった皆さんの心がちゃんと届きました。ありがとうございます。

この後も、行事やお知らせをアップしていきますので、どうぞご利用ください。

親戚の方等にお知らせすると楽しく利用できるとおもいますよ。また、学校報をカラーで見たいときや、行事の確認にもご利用ください。

6月18日夜の地震に関するメールは届いていますか？（文面にまちがいがあって失礼しました）

届いていない方は、担任の先生にお知らせください。

緊急時、全員に確実に連絡が届くようにしていきたいと思ひます。